

第5回建築設備シンポジウム「環境建築の最先端設計技術」

<開催主旨>

温暖化ガス排出量削減に向けて建築に必要な環境配慮・省エネルギー性能も益々高度化が進む中、より高性能な「環境建築」の実現を目指し、各方面で積極的な取り組みが展開されつつある。ゼロエミッション建築、持続可能建築、グリーンビルディング等、ひとえに「環境建築」といってもその関係する分野は多岐に渡っているし、問われている環境配慮・省エネルギー性能には、安全・安心はもちろんのこと機能性・快適性・生産性・満足感とともに地球環境や都市環境の視点からの、環境共生特性など多様な視点が含まれる。

このような背景により、「環境建築」を考える上で益々重要になっている「設計技術」に着目し、様々な立場の方々からのご意見を紹介いただき、今後の「環境建築」の創り方、あり方を幅広く論じる主旨で、シンポジウムを企画した。

<主催> 環境工学委員会 建築設備運営委員会

<後援予定> 社団法人空気調和・衛生工学会、社団法人建築設備技術者協会、社団法人電気設備学会、
社団法人日本設備設計事務所協会、社団法人建築設備総合協会、社団法人日本冷凍空調学会、
社団法人照明学会、社団法人建築業協会、社団法人日本空調衛生工事業協会

日 時: 2009年12月15日(火) 10:00~17:00

会 場: 建築会館ホール

プログラム・講演者

主旨説明: 宇田川光弘(工学院大学)

10:00~10:05

(1) 第1部「行政・発注者・研究者からみた環境建築」

司会 柳井 崇(日本設計)

- | | |
|---|-------------|
| 1) 「省エネルギー行政と環境建築」: 山田 陽介(国土交通省) | 10:05~10:20 |
| 2) 「ZEB(ゼロエミッションビル)の取り組み」: 未定(経済産業省) | 10:20~10:35 |
| 3) 「東京都の取り組み」: 石原 肇(東京都環境局) | 10:35~10:50 |
| 4) 「大学の省エネルギー方策」: 吉田 治典(岡山理科大学)・塩田 一裕(京都大学) | 10:50~11:05 |
| 5) 「デベロッパーの取り組み」: 井上成(三菱地所) | 11:05~11:20 |
| 6) 「シミュレーションプログラムの最前線」: 郡 公子(宇都宮大学) | 11:20~11:35 |
| 7) 「環境建築の今後の技術」: 羽山 広文(北海道大学) | 11:35~11:50 |

(2) 第2部「設計者・施工者・メーカーからみた環境建築」

司会 羽山 広文(北海道大学)

- | | |
|---|-------------|
| 1) 「環境建築と環境設計」: 岩村 和夫(東京都市大学) | 13:00~13:15 |
| 2) 「これからの環境建築」: 水出 喜太郎(日建設計) | 13:15~13:30 |
| 3) 「建築一体化設備と環境建築」: 柳井 崇(日本設計) | 13:30~13:45 |
| 4) 「BIMを活用した環境解析の取り組み」: 山田 祐三(安井建築設計事務所) | 13:45~14:00 |
| 5) 「環境建築におけるシミュレーションの役割」: 佐藤 正章(鹿島建設) | 14:00~14:15 |
| <休憩> | 14:15~14:25 |
| 6) 「建設現場における環境建築への取り組み」: 桂 純二(大成建設) | 14:25~14:40 |
| 7) 「環境建築の外部環境の事後評価」: 赤川 宏幸(大林組) | 14:40~14:55 |
| 8) 「竣工後のチューニングの重要性及び設計へのフィードバック」: 清水 昭浩(高砂熱学工業) | 14:55~15:10 |
| 9) 「環境建築と窓ガラス」: 木下 泰斗(日本板ガラス) | 15:10~15:25 |
| 10) 「環境建築とファサード」: 岩瀬 静雄(三協立山アルミ) | 15:25~15:40 |
| 11) 「環境建築と光ダクト」: 新井 秀雄(マテリアルハウス) | 15:40~15:55 |

(3) 第3部 パネルディスカッション

16:00~17:00

石野 久彌(首都大学東京)、宇田川 光弘(工学院大学)、川瀬 貴晴(千葉大学)、
吉田 治典(岡山理科大学)、佐藤 信孝(日本設計)

定員: 200名(定員に達した場合のみ、お断りのご連絡を申し上げます。)

参加費(資料代込・当日徴収): 会員: 2,000円, 登録メンバー: 2,500円, 会員外: 3,000円, 学生: 1,500円

資料代: 1,500円

* 登録メンバーとは: 会員外であって本会「能力開発支援制度」に登録された方

(詳細は日本建築学会ホームページ <http://www.ajj.or.jp/jpn/CPD/> を参照)

申込方法: E-mailにて「催物名称、氏名、会員種別(会員番号)、勤務先名、電話番号、FAX番号、E-mail」を明記の
うえ申し込んでください。定員に達した場合のみ、お断りのご連絡を申し上げます。

申込み・問合せ: 事務局研究事業部 酒井 E-mail: sakai@ajj.or.jp